

【担当者名】 高橋祐輔 小野誠司 近藤 啓 吉田 繁 坊垣暁之 田中真樹 丸川活司 幸村 近 江本美穂 沖野久美子  
遠藤輝夫 高橋祐司

【概要】

医療現場では、些細なミスやその重なりが過誤または事故に繋がる可能性がある。医療現場のみならず過去に発生した様々な事故案件を知り、当時の分析やその後の対応状況などを学ぶことで、実際に目前にある危機を予測したり、予防したりするための洞察力を育み、自らの危機予防能力を高め、現実世界で様々遭遇する事例に対して備える事を目標にする。また、臨床検査業務を行う各検査室での過誤と対処法を学び、自分と患者様の安全を確保するための考え方や対処法を養う。特に、採血室での過誤と対処法に関連し、正しい採血方法を習得することも目標とする。

【学修目標】

- 1) 高い倫理性を基に、医療リスクや医療過誤について理解し、その原因や対処について説明できる。
- 2) ヒューマンエラーの意味を理解し、その原因を科学的思考と的確な判断で分析し説明できる。
- 3) 検体検査室の進歩や変化を学ぶことで、起きやすい過誤を理解し、リスクマネジメントについて説明できる。
- 4) 生理検査室の進歩や変化を学ぶことで、起きやすい過誤を理解し、リスクマネジメントについて説明できる。
- 5) 一次救命救急の重要性を理解し、その方法について説明、実践できる。
- 6) 臨床検査に必要な知識と技術として、採血の方法や注意点を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	・ガイダンス ・医療リスク、医療過誤について ・ヒューマンエラーの実体 キーワード：医療リスク、医療過誤、ヒューマンエラー	高橋祐輔 小野誠司
2	生理機能検査室でのリスクマネジメント	・生理検査の過程で起こりやすい過誤と対処法 キーワード：心電図、負荷試験、検査過誤	小野誠司
3	検体検査室でのリスクマネジメント 1	・検体検査の過程で起こりやすい過誤と対処法 ・採血で起こりやすい過誤と対処法 キーワード：検体検査、採血、検査過誤	吉田 繁 坊垣暁之
4	検体検査室でのリスクマネジメント 2	・病理検査、細菌検査の過程で起こりやすい過誤と対処法 キーワード：病理検査、細菌検査、検査過誤	近藤 啓
5	採血法	・採血時の安全管理 ・臨床検査技師の採血行為の範囲 ・採血の種類 教科書：医療安全管理学 第4章 A,B	吉田 繁
6	採血法	・採血の部位と手段 ・採取に際しての注意事項 ・乳幼児の採血 ・採血に伴う静脈路確保（電解質輸液の注入を含む） 教科書：医療安全管理学 第4章 A,B	吉田 繁 坊垣暁之
7 8 9	採血法	・シリンジ採血の手技 ・採血管の取扱法 ・血液検体の取扱法 キーワード：消毒、神経走行、迷走神経反射	高橋祐輔 吉田 繁 田中真樹 坊垣暁之 丸川活司 近藤 啓 幸村 近 小野誠司 江本美穂 沖野久美子 遠藤輝夫 高橋祐司
10	採血法	・真空採血の手技	高橋祐輔

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
12		・血清の分離と取扱法 キーワード：陰圧、ホルダー、リキャップ、針刺し	吉田 繁 田中真樹 坊垣暁之 丸川活司 近藤 啓 幸村 近 小野誠司 江本美穂 沖野久美子 遠藤輝夫 高橋祐司
13 15	採血法	・翼状針を用いた採血手技 キーワード：ルアー型、ストッパー、プロテクター、ウイング	高橋祐輔 吉田 繁 田中真樹 坊垣暁之 丸川活司 近藤 啓 幸村 近 小野誠司 江本美穂 沖野久美子 遠藤輝夫 高橋祐司
16 17	救急医療	・一次救命救急の実習 キーワード：一次救急救命、AED	沖野久美子 幸村 近 小野誠司 高橋祐輔 坊垣暁之 齋藤靖弘（特別講師）

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 60% 課題レポート 40%

【教科書】

諏訪部章 他 編「最新臨床検査学講座 医療安全管理学 第2版」 医歯薬出版 2023年  
各実習に際し、実習書を配布する。

【参考書】

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 監修「検体採取者のためのハンドブック 第1版」じほう 2016年  
一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 監修「臨床検査技師のための医療安全管理教本 第1版」じほう 2017年

【備考】

14～15回目は実技をともなう演習があるので動きやすい靴と服装で受講してください。スカートやヒールの高い靴では受講できません。

【学修の準備】

今回の授業内容およびキーワードについて、教科書を読み理解しておくこと(80分)  
授業終了後に提示した課題の実施またはレポート作成をすること(80分)

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。  
(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。  
(DP4) 臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。  
(DP6) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。

【実務経験】

高橋祐輔（臨床検査技師）、小野誠司（臨床検査技師）、近藤 啓（臨床検査技師）、吉田 繁（臨床検査技師）、坊垣暁之（医師）、田中真樹（歯科医師）、丸川活司（臨床検査技師）、幸村 近（医師）、沖野久美子（臨床検査技師）、遠藤輝夫（臨床検査技師）、高橋祐司（臨床検査技師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

医療機関での実務経験を活かし、基本的手技から臨床検査の過誤まで、実践的指導を行う。